

満員御礼

多勢久美子さん講演(口演)会

第二十回語り部養成講座



七月十四日(日)午後一時より、夕鶴の里自主事業実行委員会(渡邊記美子会長)主催の語り部養成講座の一環として多勢久美子さん講演(口演)会が開催されました。講師の多勢さんは平成三年から二十六年まで民話会ゆうづる会員の語り手として夕鶴の里を中心に県内外で口演を行っていたされました。

平成二十七年に島根県へ移住されてからも各施設で口演活動を行ってらっしゃいます。夕鶴の里では、二〇〇席を用意して準備をしていましたが、申し込みが殺到し、急遽、

報知資料館の夕鶴の里
令和元年7月20日
第103号
発行 夕鶴の里
TEL 47-5800

二十五席増やし、二百二十五席で皆様をお迎えしました。夕鶴の里館長(高橋大吉)より、多勢久美子さん、本日は、遠い所お越し頂きまして誠にありがとうございます。本来であれば、花を飾ってお迎えするのが普通ですが、多勢さん自身が花ですので今回はあえて飾っておりません」と挨拶があると、多勢さんから挨拶上手になつたな」と鋭い切り返しに会場は早くも笑いに包まれました。

語りを始めた経緯や、移住された島根県での口演活動の様子、語り手として気をつけている事は「自分の言葉で語る事」や「会場の空気を読む事」などをお話いただき、現在語り部養成講座を受講している皆さんも熱心に耳を傾けておりました。

『鶴の恩返し』・『なさけの涙』・『切草』・『雪おなご』・『伊っぺ』

あだ』などの民話の語りや詩の朗読をしていただきました。ユーモアたっぷりのトークで笑いが起こったと思えば、多勢さんの民話に対する想いを聞き、皆さん領いて聞いてらっしゃいました。あつと言う間に二時間が過ぎ、大盛況で講演会を終える事ができました。



『鶴の恩返し』を語る多勢さんお召しものには鶴が描かれています。

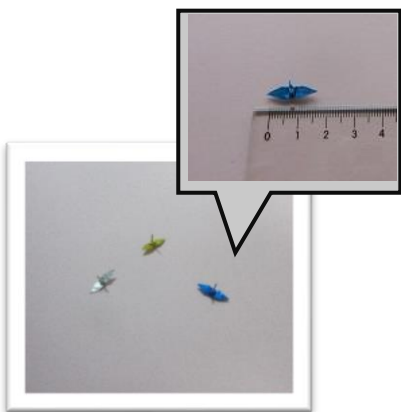
母を想う子の気持ち
詠んだ詩の朗読



たくさんのご来場ありがとうございました

愛知県の皆様から

六月にご来館されたお客様から直径一・五センチの折鶴を頂きました。ご自宅にたくさんあるという事なので、郵送して頂き、職員で千羽鶴を作る予定です。



民話語り部体験講座
終了しました

四回にわたって行われた山形大学フィールドプロジェクト「民話語り部体験」が無事終了しました。山形大三年生十八名が、民話語り、そば打ち、機織り、民話ゆかりの地巡りと体験文化を学びました。最終日の閉講式では、一人一人発表してきた語りを、緊張することなく、皆さん練習の成果出せたと、存分に講評と記念品が手渡されました。



各班に分かれて語りの練習

みんなそろって記念撮影



ありがとうございました！

語りの発表



民話ゆかりの地めぐり



出来上がり



1日～1日半くらい
乾燥機にいれます

六月五日(水)から飼育を始めた蚕があつという間に成長し、真つ白できれいな繭になりました。今年の六月は肌寒い日が続き、例年と比べると蚕の成長が遅かったように思えますが、無事育ってくれました。当館で飼育した蚕は、染織り講習会で真綿を作り、マフラーの一部として使われます。

蚕の飼育

お願い

健康増進法の一部改正に伴い、受動喫煙による健康影響を未然に防止するため7月から敷地内禁煙となりました。ご了承ください。



NANちゃんYOちゃんが
夕鶴の里にいらっしやいました！



金蔵の家の前でポーズをとる2人

山形市にありますケープルテレビダイバーシティメデアさんが「バイキングステーキション」の撮影の為に、夕鶴の里に来てくださいました。